

令和7年度第6回 東松山市総合計画審議会 会議録

開催日時	令和8年2月13日(金)		開会	14時00分		
			閉会	15時30分		
開催場所	東松山市役所 総合会館3階303会議室					
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 3か年実施計画について (2) 総合戦略について (3) 行政改革基本方針(案)について (4) その他について 4 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		2人	
審議会委員	会長	小野寺 亘	出	委員	長島 洋介	出
	副会長	小峰 良介	出	委員	中田 幸昌	出
	委員	飯島 徹	出	委員	細田 咲江	欠
	委員	今村 美代子	出	委員	杉山 武志	出
	委員	押尾 晴樹	欠	委員	佐藤 幸俊	欠
	委員	木村 翔一	出	委員	関根 美沙	欠
	委員	須田 知樹	欠	委員	松木 秀一	出
	委員	関口 喜希	出			
事務局	政策財政部次長 関根 隆		政策推進課長 今井 秀典			
	政策推進課活性化戦略室室長 原田 政洋		政策推進課主査 江原 友博			
	政策推進課主任 長嶋 宥佑		政策推進課主事 嶋岡 佑香			

次 第	顛 末
1 開会	(事務局開会宣言)
2 あいさつ	(小野寺会長あいさつ)
3 議題	
(1) 3か年実施	≪ (1) 3か年実施計画について事務局から説明≫
計画について	【資料1-1】3か年実施計画様式
	【資料1-2】指標設定の考え方
	【資料1-3】事務事業・指標一覧
	【資料1-4】指標に対する意見について(依頼)
	・3か年実施計画は、総合計画の各施策に紐づく事務事業について進捗管理を行い、毎年度見直しを行うもの。
	【質疑応答・意見】
長島委員	事務事業の目的と施策で設定したアウトカム指標との整合性が取れているか確認する必要があると思います。
	また、事務事業のKPI(アウトプット指標)が施策に掲げた指標の達成にどれほど寄与するのか、「寄与率」を考慮することによって、効果的にメインアウトカムの向上につながる指標を設定することができると思います。
小野寺会長	担当課が設定する指標は目標の達成しやすさで設定しているものもあるため、事務事業に対して適切な指標となっているか事務局はよく確認した方がよいと思います。
松木委員	一つの事業に対して複数の指標を設定するのでしょうか。
	また、資料1-4についてはデータで送付してもらえるのでしょうか。
事務局	指標を設定する際にいくつか候補をあげたうえで、その候補の中から寄与率を考慮し、適切な指標を一つ設定します。
	資料は各委員宛てにデータで送付します。
中田委員	単年度の結果だけで事業の良し悪しを見るのではなく長い目で事

	<p>業を評価する必要があると思います。また、社会情勢が日々変化していることから、柔軟性をもっていろいろな角度から事業を評価することも大事だと思います。</p>
事務局	<p>従来から KPI や PDCA サイクルの考え方を業務に取り入れていますが、効果的に活用できていないことに加え、職員の認識もまだ薄いことから、審議会での意見を踏まえて効果的に活用していきたいと思います。</p>
松木委員	<p>資料 1 - 3 について、指標の方向性が「維持」となっている事務事業について、その指標のとおり事業を遂行したところで 1 年後の状況が変化しないように感じる指標もありますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>施策に対する指標の方向性は「増加」としてはいますが、事務事業に対する指標の方向性は「維持」としているものがいくつかあります。「増加」させたいのに事務事業の方向性が「維持」となっている指標については担当課と再度検討します。</p>
小野寺会長	<p>指標を設定する際には KPI や KGI の考え方に縛られすぎなくてもよいと思います。成果指標とした方がよいものについては、多少柔軟に対応し、より整合性のとれた指標を設定してはいかがでしょうか。</p>
長島委員	<p>メインアウトカムのみでの考え方では、目的に合致しているかを測る上で、正確に判断できない場合があります。そのため、サブアウトカムの考え方も取り入れることで、より柔軟に対応できるのではないのでしょうか。</p>
中田委員	<p>民間企業でも実務に当たっている職員は、手段を実行すること自体が目的化してしまうことがあります。組織で考え方を浸透させ、手段が目的化しないよう工夫が必要であると感じます。</p>
小峰副会長	<p>指標が事務事業の内容に合致するか、担当課とも再度調整をする必要があると思います。</p>
事務局	<p>《 (2) 総合戦略について事務局から説明 》 【資料 2】 第 3 期東松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の持続的な発展を図るための地方創生に関する5年間の計画。 ・第六次総合計画に掲げた将来像の実現を支えるものとして位置づけられている。 ・3か年実施計画書に内容を包含させて運用する。
小野寺会長	<p>【質疑応答・意見】</p> <p>事務事業で設定したKPIなどと総合戦略との内容で齟齬が生じないようにしているのでしょうか。</p>
事務局	<p>齟齬が生じないよう留意します。</p>
事務局	<p>《（3）東松山市行政改革に関する基本方針（2026）案》について事務局から説明》</p> <p>【資料3】東松山市行政改革基本方針（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の策定から10年が経過し、デジタル化や人口減少など社会情勢の変化に対応するため内容を更新する。
杉山委員	<p>官民連携の推進について、社会福祉協議会やNPO法人など様々な団体がどのようなことをしているか調査し、得意不得意を整理した上で、民間活力の導入を検討してみたいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>活用できる分野においては積極的に官民連携を推進していきますが、決して丸投げするのではなく、民間と一緒に事業を進めていくことが大事だと考えております。</p>
中田委員	<p>自治体が発展するためには交通インフラの整備は欠かすことのできないことだと思います。高齢化が進み、運転ができない人が増えていくことを見据え、脆弱な交通インフラへの対応に早期に取り組む必要があると思います。</p>
事務局	<p>公共交通も含め、すべての分野で対応が遅れないよう努めます。</p>
松木委員	<p>デジタル化を推進する上で、他自治体の先進的な取組を積極的に参考にすべきと考えます。また、市民ニーズに応えるためにデジタル技術を活用することが必要と考えます。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり先進的な自治体を参考にデジタル技術の活用につ</p>

	<p>いて研究を進めます。また、市民ニーズについては、標本調査として2年に1度実施している市民意識調査で把握しているほか、国のRESASなども活用し本市で必要な情報を分析します。</p>
長島委員	<p>標本調査を基に課題抽出をして事業整理をすることが、今後行政に求められるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>エビデンスに基づいて事業を実施することで市民に対しての説得力も上がるため、重要な視点と考えます。</p>
小峰副会長	<p>申請や届け出などの業務についても今後、デジタル化やオンライン化が進むとは思いますが、対応できない高齢者等に対してどのように対処するのも併せて考える必要があると思います。</p> <p>また、“自治体フロントヤード改革”など市民に馴染みのない言葉は、わかりやすい表現に見直す必要があると思います。</p> <p>視点Ⅲで「市民ニーズに的確に対応する」との表現がありますが、“東松山市民”を対象としているのでしょうか。</p>
事務局	<p>デジタル化やオンライン化への対応が難しい方については適切にフォローをします。また、わかりにくい言葉はなるべく使用しないようにします。“市民”という表現は、東松山市で活動している方を対象としています。</p>
長島委員	<p>趣旨の項目に「グローバル化」の文言を追記してみてもいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>外国人人口が増えている現状があるため、グローバル化の視点も整理して記述します。</p>
飯島委員	<p>e-TAXをはじめ、国のデジタル化が進む一方で、地方のデジタル化はあまり進んでいないように感じます。国や県と協力し、デジタル化の技術を地方自治体でも取り入れられるとよいと思います。</p>
事務局	<p>デジタル技術の導入に伴う国からの補助はあるものの、運用費用に対する補助がなく各自治体の負担となるケースが多々あります。市民の利便性を高めるものについては、費用の助成について国への要望を引き続き行います。</p>

木村委員	<p>デジタル化に伴い効率化を図るためか、以前よりも職員が現場に来る回数が減ったように感じます。効率化を目指すのもよいと思いますが、現場を知らないと、有事の際などに効率的に対処できないのではないかと思います。</p>
事務局	<p>現場に赴き、現場を知ることが基本だと思います。本基本方針のP.3にも記しましたが、すべての職員が課題に対して当事者意識を持ち、業務に携われるよう職員にも周知を徹底いたします。</p> <p>また、第六次総合計画の将来像で掲げた「やさしさ」に込めた思いである人と人との繋がりも意識しつつ業務に従事します。</p>
関口委員	<p>職員が専門的なスキルを身につけることで過不足なく対応できると思いますが、専門的な知識を身につけすぎて民間企業などへの人材の流出につながる可能性も生じると思います。また、生成AIについて利用方法を間違えると個人情報の流出につながるため、利用にあたっては危機管理能力の向上を図る必要があると思います。</p>
事務局	<p>公務員でもジェネラリストだけではなく、専門的な話をする上で、担当業務に精通したスペシャリストも必要であるとも感じます。また、生成AIについてはデータの流出が起きないように取り扱いには細心の注意を払います。</p>
関口委員	<p>スキルの向上ももちろん必要ですが、コンプライアンス意識の向上についても意識をするべきと感じます。</p>
事務局	<p>職員一人一人のデジタルリテラシーの能力も高めていきます。</p>
今村委員	<p>電話や窓口での対応も職員によって案内にばらつきがあると感じています。また、市民ニーズについては、立ち話などで本音が出やすいと思いますので、本音をうまくくみ取って行政サービスに反映してもらえるとありがたいです。</p>
事務局	<p>来庁した方の意見に傾聴し、適切な案内ができるよう取り組みます。調査の結果だけを見て、判断するのではなく、現場の生の声を聴くよう努めます。</p>
事務局	<p>《（４）その他について事務局から第六次総合計画表紙デザイン案などを説明》</p>

<p>杉山委員</p> <p>4 閉会</p>	<p>【資料4】第六次総合計画表紙デザイン、分野別計画レイアウト</p> <p>淡い色が“やさしさ”を際立たせる良い配色だと思います。</p> <p>(関根政策財政部次長より御礼のあいさつ)</p> <p>(事務局閉会宣言)</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和8年3月6日</p> <p>署名委員 <u>長島 洋介</u></p> <p>署名委員 <u>杉山 武志</u></p>	